

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	独自のグループホーム介護倫理を作成中である。集団生活に施設側の理念を主に掲げる傾向に利用者からの意見をいただいて利用者が要望する内容を検討している。	老化を素直にみとめて、老いるための生活を考えるこころの楽園づくりを。	それぞれの老いの段階でむりをしなくて求められる生活環境を用意する。ゆらりゆらりゆっくりと時間をせかせないで考え、会話、行動、計画を本人の心身の動きに合わせる生活。	6ヶ月
2	35	夜間防災について体制上ゆとりがなく対象者の健康レベルも低下している現状は、職員に負担が増している。しかし安全な生活を送って行くための対策実践を日常生活の中で実施していく事を検討している。	日常生活の中に訓練として習得する。	緊急時の救命訓練、避難訓練、など実践記録し全員が習得しておく。消防署の協力、近隣の協力を得て実践。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。